

愛知住まい・まちづくりコンサルタント協議会

2025年視察交流会

旅のしおり

■ 本日のスケジュール

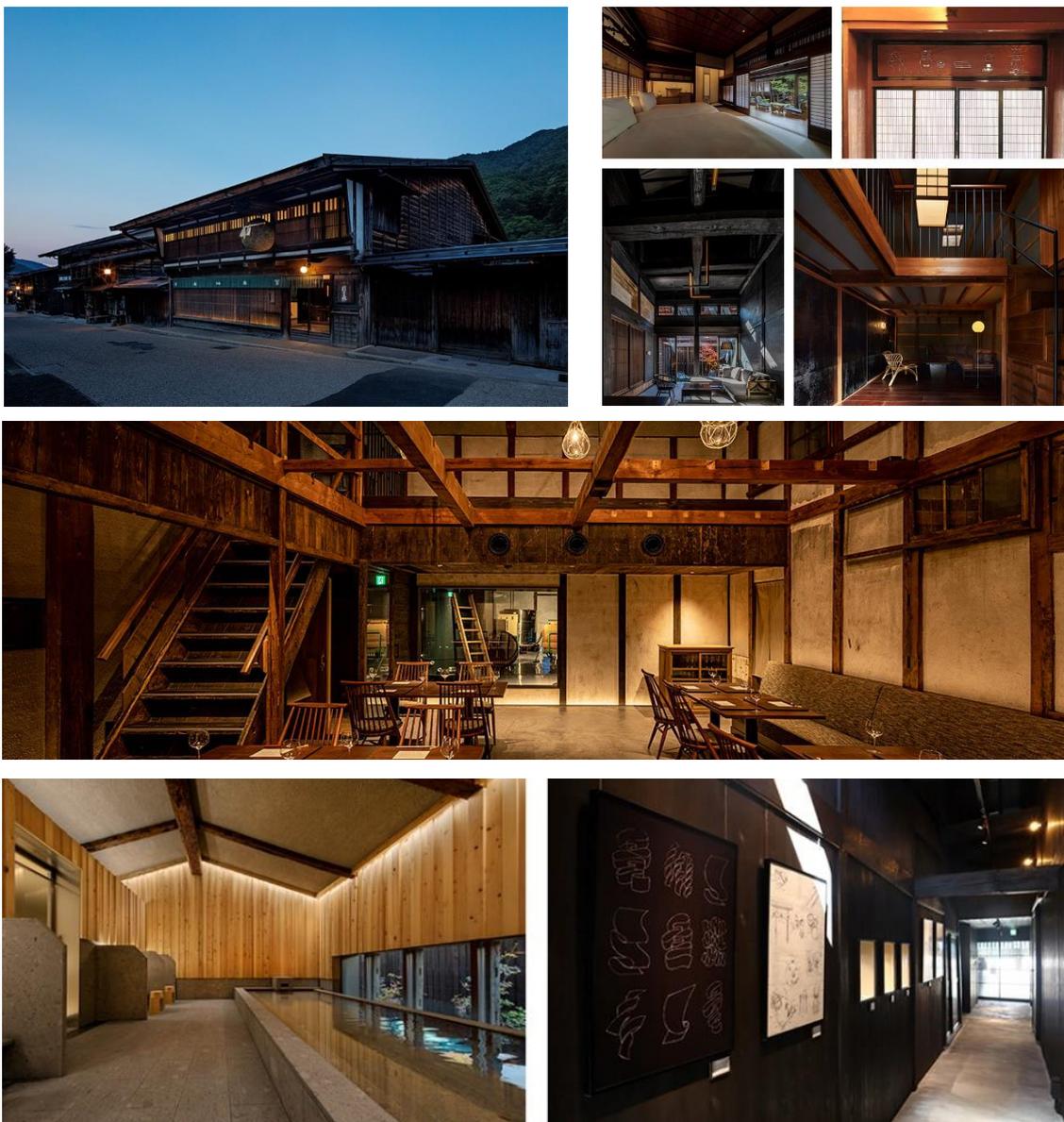
時間	行程
7:40	名古屋駅太閤通口集合(銀時計前) ※バスが長時間駐車できないので、時間厳守で！
8:00	名古屋駅太閤通口を出発(貸切バス)
↓バス移動(途中、SAで休憩)	
11:20	奈良井宿着(長野県塩尻市)
11:20 ~12:50 (1時間半)	BYAKU Narai 視察・説明 (※説明は奈良井公民館で行います。)  ←BYAKU Narai 外観
13:00 ~14:10 (約1時間)	自由行動(昼食各自) ※バス移動⇒木曽平沢へ
14:30~ 15:20 (1時間弱)	木曽平沢着 重要伝統的建造物群保存地区に選定を受けた町並み (漆工町)の散策 
15:20	木曽平沢出発
↓バス移動(途中、SAで休憩)	
19:00	名古屋駅前到着(自由解散)…お疲れ様でした！

■ BYAKU Narai とは・・・

江戸時代から続く中山道奈良井宿(中山道六十九次のうち、34番目の宿場町)は、往時の面影を今に残す町並みが保存されている地区で、1978年に重要伝統的建造物群保存地区(以下、伝建地区)に選定されていますが、最近では空き家が増えてきている現状がありました。

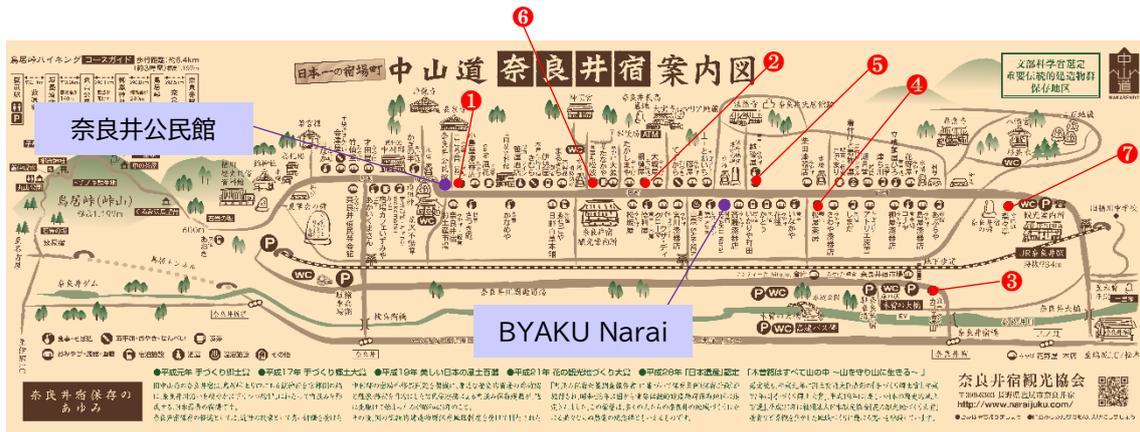
そこにおいて、竹中工務店(株)と塩尻市が中心となり、「地域に眠る百の体験をお客様に届け、百年前の建築を未来に遺す宿」をコンセプトに、酒蔵「杉の森酒造」をはじめ、「豊飯豊衣民宿」、「三澤漆器店」、「寺前住居」の4棟の特徴的な歴史的建造物が再生され、BYAKU Naraiの御宿として引き継がれています。

事業としては、宿泊施設のほかに、ローカルガストロノミーレストラン「嵩(くら)」、酒蔵「suginomori brewery」、「Tasting Bar suginomori」、温浴施設「山泉」、「Gallery hoihoi」などが展開されており、伝統的建造物の現代における新しい活用の姿を見ることができます。



(画像の出典:竹中工務店(株)、BYAKU Narai ホームページ)

■ 奈良井宿周辺のランチのお店



📍 奈良井宿周辺で、食べログ上位のお店をピックアップしました。

番号	ジャンル	店名	営業時間	メニュー
①	そば、喫茶店	こころ音	11:00 - 14:30	ぶっかけそば 1,200 円、 天ぷらそば 1,400 円など
②	そば	相模屋	11:00 - 15:00	ざるそば 1,000 円、 五平餅定食 1,500 円など
③	カフェ、カレー	Cafe 深山	10:00 - 16:30	100 年前のライスカレー 968 円など
④	カフェ	松屋茶房	9:00 - 17:00	コーヒー650 円～、 蔵出しぜんざい 850 円など
⑤	そば、喫茶店	越後屋	10:00 - 18:00	ざるそば 1,100 円、 越後屋定食 1,650 円など
⑥	食堂	松波	11:30 - 20:00	特製ソースカツ丼 950 円など
⑦	そば、うどん	楽々亭	11:00 - 17:00	天ざるそば 1,100 円、 ミニ天丼 500 円など

※営業時間、メニュー、価格等は変更している可能性がありますのでご注意ください。

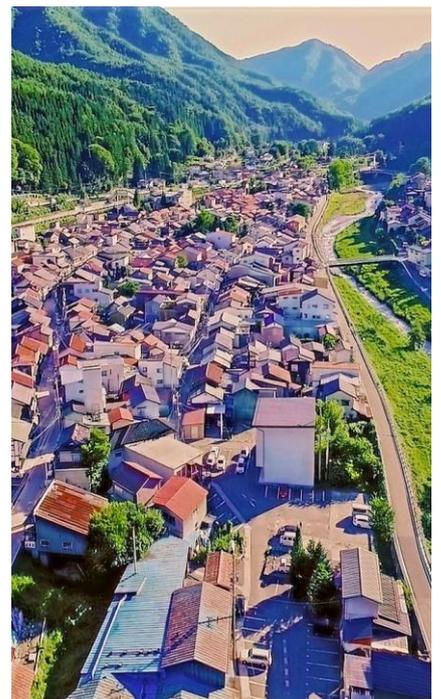
※BYAKU Narai 内のレストラン「嵩」は、ランチ営業はしていません。

■ 木曾平沢について

木曾平沢は、中山道の贄川宿と奈良井宿の中間にある、同じく重要伝統的建造物群保存地区に選定された地区です。当地区は中山道随一の木曾漆器の生産地として栄え、通りに面した家並みは、多様性に富んだ建物が多く、主屋の裏には漆器の作業場である塗蔵があり、漆器の産地を特徴づける建物となっています。

伝建地区の指定を受けた本通り・金西町を中心に、現在でも主屋の裏には漆器の作業場である塗蔵があり、建物だけでなく伝統産業も今に伝える職人の町でもあります。

同じ中山道の伝建地区ですが、奈良井と木曾平沢では町の雰囲気や建物活用の方法がどのように違うかなど、ぜひ見比べてみてください。



(画像の出典: 木曾平沢町並み保存会ホームページ)

■当日の緊急連絡先

080-3062-2081 (伊藤建築設計事務所・川本携帯)

090-9130-9980 (ランドブレイン・久世携帯)

MEMO